



Future Earthセミナー

日時：11月14日（月）1時～2時30分

場所：永国寺キャンパス・教育研究棟A214

地球システムは、産業革命以降の人類の活動の結果、過去一万年続いた安定状態（完新世）から、人類の生存基盤を危なくする激変の時代（産業革命以降：the Anthropocene, 人新世）に突入しています。これに立ち向かうため、持続可能な社会への変革を加速する知識と行動を創出する国際的な研究プラットフォームが「フューチャーアース」です。フューチャーアースを代表するお二人の研究者をお招きしてのセミナーです。参加は無料。

プログラム：

13：00～13：40 「Future Earthにおけるアジアの重要性」

安成哲三先生（総合地球環境学研究所・所長）

13：50～14：30 「Future Earthの責務と展開」

春日文子先生（国立研究開発法人 国立環境研究所 特任フェロー、
フューチャー・アース国際事務局 日本ハブ事務局長、
東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）客員教授）

安成哲三先生

略歴：1947年生まれ。1971年京都大学理学部卒業。1977年同大学院理学研究科博士課程修了。1981年理学博士。京都大学東南アジア研究センター助手、筑波大学地球科学系助教授、教授、名古屋大学地球水循環研究センター教授、2003年10月から2008年3月まで同大学21世紀COE「太陽・地球・生命圏相互作用系の変動学」拠点リーダー、2009年6月から2013年3月まで同大学グローバルCOEプログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」拠点リーダー。2008年10月から2014年9月まで日本学術会議会員。2013年4月より現職。筑波大学・名古屋大学名誉教授。気象学、気候学、地球環境学を専門とし、2013年6月よりフューチャー・アース国際科学委員、同年8月より日本学術会議フューチャー・アースの推進に関する委員会委員長を務めている。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書第1作業部会（自然科学的根拠）査読編集者。

春日文子先生

略歴：1988年東京大学大学院農学系研究科博士課程修了、国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長を経て、2016年4月より国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー。2000年～2015年までFAO/WHOテンポラリーアドバイザーならびにWHO FERGメンバー、2003年より国際食品微生物規格委員会（ICMSF）メンバー、2012年より国際科学会議（ICSU）科学計画評価委員会委員、2011年10月～2014年9月まで日本学術会議副会長（国際活動担当）。フューチャー・アース国際事務局設立から関わり、2015年5月より事務局日本ハブ事務局長。

